

第66回全国教職員剣道大会実施要項

- 1 主催 (一財)全日本学校剣道連盟
- 2 共催 (公財)全日本剣道連盟
- 3 後援 スポーツ庁 茨城県 茨城県教育委員会 (公財)茨城県スポーツ協会
(申請中) 神栖市 神栖市教育委員会
- 4 主管 茨城県学校剣道連盟 (一財)茨城県剣道連盟
- 5 期日 令和6年8月11日(日)
- 6 会場 かみす防災アリーナ
〒314-0127 茨城県神栖市木崎1219-7 TEL 0299-77-5400 FAX 0299-93-0003

7 参加資格

現在、各都道府県学校剣道連盟に在籍する教職員で、次の事項に該当すること。

- (1) 幼・小・中・高・特別支援学校の教員とし、非常勤講師(年間任用者で授業を担当している者)、および常勤の事務職員とする。
- (2) 大学・高専の在籍は、助手・助教・講師・准教授・教授で、常勤している者。および常勤の事務職員とする。
- (3) 教育委員会および行政職等の在籍は、教員身分の指導員・指導主事・その他の教職員の身分を有し、常勤している者。
- (4) 段位などの制限は設けない。
- (5) 監督は大将を兼ねてもよい。

8 選手団の構成

(1) 団体試合

- ア 各都道府県1チームとし、構成は監督1名(大将との兼任可)・選手5名の計5名、もしくは6名とする。
- イ 選手の構成は『幼・小・中』から1名、『高校・高専・大学・教委』から1名、他の3名はいずれから出場してもよい。
- ウ 大将は55歳以上、副将は45歳以上とする。(大会前日の満年齢)

(2) 個人試合

- ア 各都道府県とも、『男子の部』『女子の部』のそれぞれに1名が出場できる。
- イ 開催都道府県は個人戦各部において、それぞれ2名が出場できる。
- ウ 選手は団体試合出場者以外の者を主体とするが、やむを得ない場合のみ団体試合出場者と兼ねることができ。
- エ 年齢制限は設けない。

9 試合・審判規定

試合は、(公財)全日本剣道連盟剣道試合・審判規則と同細則、および主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン(新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判方法)に記載の試合方法による。

(1) 試合時間

- ア 団体試合は4分3本勝負、勝敗が決しない場合は引き分けとする。
- イ 個人試合は4分3本勝負、試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行い、先に一本取った者を勝ちとする。なお、延長に入ってから試合時間は3分で区切り、勝敗が決するまで行う。

(2) 試合方法

団体試合、個人試合共にトーナメント戦で行い、優勝・準優勝・3位(2チーム・2名)を決定する。団体試合においては、勝敗を勝者数法により決定する。勝者数・取得本数共に同数の場合、引き分けた組による代表者戦とし勝敗を決定する(引き分けた組が複数ある場合は抽選により組を決定する)。代表者戦は4分1本勝負。試合時間内に勝敗が決定しない場合は、延長を行い、先に1本取った者を勝ちとする。なお、延長に入ってから試合時間は3分で区切り、勝敗が決するまで行う。

10 宿泊

大会参加者・帯同審判員の宿泊に関しては、各都道府県学校剣道連盟の責任のもと、各自で宿泊申し込みを行う。大会主催県側ではその責任は一切負わない。ただし、大会当日の弁当及び宿泊の問い合わせについては、業者による別紙要項に従うこと。

11 大会参加費

本大会に参加する都道府県は、大会参加費（20,000円）および分担金（本部より請求）を同時に次の金融機関に納入する。

ア 納入期限 令和6年6月15日（土）

イ 納入先 「金融機関名」 三菱UFJ銀行 飯田橋支店
「口座番号」 (普) 1035002

「口座名義人」 (財) 全日本学校剣道連盟 事務局長 吉田 泰将

12 申込み方法

- (1) 各県にて 下記サイトへアクセスし、専用フォームにて申し込みを行う。
その際、集合写真データ（jpg形式）も一緒に送信する。
*申込期限までに写真が届かない場合、プログラムへの写真掲載はできない。

第66回全国教職員剣道大会茨城県大会公式サイト <https://kyoshokuin.i-kendo.info/>

(2) 申込期限 令和6年5月31日（金） 締め切り厳守

(3) 問合せ先 〒319-0133 茨城県小美玉市張屋500番地 茨城県立中央高等学校内

第66回全国教職員剣道大会実行委員会 事務局 長谷川 聡 宛

TEL：0299-46-1321 FAX：0299-46-5309

13 その他

- (1) 出場選手は、面マスクまたはシールドを着用すること。
- (2) 監督・選手・帯同審判員は、大会前日（8月10日）に大会会場エントランスにて受付（10:00～16:00）を行う。翌日の大会に関する連絡事項やプログラムなどを配布する。なお、大会前日に受付ができない場合は、大会事務局に事前に申し出る。
- (3) 今大会、竹刀検量は実施しないが、受付時に剣道用具確認票を提出する。
- (4) 参加選手は、開会式に全員参加する。閉会式は、表彰者のみの参加とする。ただし、優秀選手は、閉会式に発表のみ行い、表彰は発送をもって代える。
- (5) 大会前日の公認審判員講習会は、実施しない。よって今大会は、公認を受けていない審判員であっても、七段以上であれば審判を認める。ただし、各都道府県は公認を受けた審判員を選出するよう努力する。
- (6) 審判員の服装は、(公財)全日本剣道連盟の規則により、紺のブレザーに長袖白ワイシャツ、グレーのスラックス、紺のソックス、エンジのネクタイとする。また、左胸下に(一財)全日本学校剣道連盟審判員認定ワッペンをつける。なお、上記「13その他(5)」により、ワッペンがない場合は、本部より貸し出しをする。
- (7) 大会中の負傷に対しての傷害保険については、各都道府県で加入すること。なお、参加者は各自保険証を持参する。

14 個人情報保護法への対応（各都道府県事務局は、以下を参加者に周知する。）

申込書に記載される個人情報（登録県名、称号・段位、漢字氏名、かな氏名、年齢、住所、電話番号、職業、メールアドレス等）は、(一財)全日本学校剣道連盟および茨城県学校剣道連盟が実施する本大会の運営のために利用する。なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体に公表することがある。更に、剣道普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

- (1) (一財)全日本学校剣道連盟や茨城県学校剣道連盟及び報道機関等が撮影した写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公開される可能性がある。
- (2) (公財)全日本剣道連盟及び報道機関等が撮影した映像が、中継・録画放映及びインターネットによる配信で公開される可能性がある。